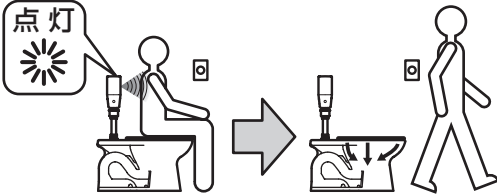


8 試運転

※試運転はスイッチユニットとセットで行ってください。
 ※試運転は必ず、露出タイプは上カバーをかぶせ、埋め込みタイプは扉を開けて行ってください。

自動洗浄 ※大小切り替え洗浄・自動洗浄なしタイプを除く

人体センサーの前に座り、使用者を感知すると感知表示ランプが点灯し、6秒以上点灯させたあと、立ち去ると感知表示ランプが消灯し、約10秒後に洗浄水が自動で流れることをご確認ください。



感知表示ランプが消灯しない場合

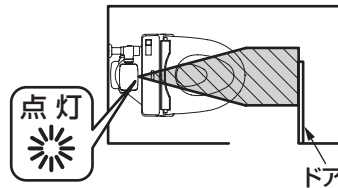


感知距離を自動調節します。

10分以上、障害物を感知すると自動的に距離を調節しますのでお待ちください。それでもトイレブースの壁や便器を感知する場合は、感知距離の再設定が必要となります。

設定方法は9-1の「感知距離の設定（人体センサー）」を参照してください。

※人体センサーが壁やドアを感知していると正確に人体を感知できず、大小洗浄の判定や自動洗浄ができなくなります。



センサースイッチでの洗浄

別売品のセンサースイッチ使用時、手かざしセンサーから5cm以内に約1秒手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



タッチスイッチでの洗浄

別売品のタッチスイッチ使用時、ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



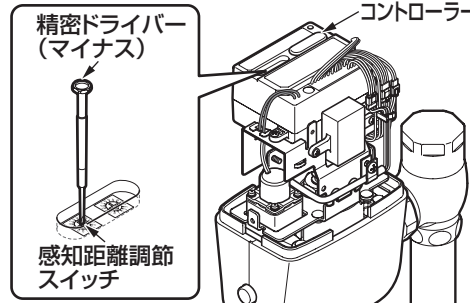
使用者に操作方法がわかるように、ラベルを見やすい壁面に貼り付けてください。

9-1 切替スイッチの調節

以下の設定を行うには上カバーを取り外していただく必要があります。
 上カバーの取外要領は、「6-4 - 6 洗浄水量の調節」を参照してください。

スイッチの設定を変更したあとは、必ず上カバーをかぶせて確認作業を行ってください。

感知距離の設定（人体センサー） ※大小切り替え洗浄・自動洗浄なしタイプを除く



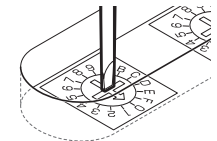
コントローラー左側の感知距離調節スイッチのゴムキャップを外し調節してください。
 ①人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合

…感知距離調節スイッチを「0」から「5」へ回す。

②スイッチ切り替え後も人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合

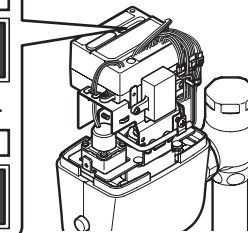
…感知距離調節スイッチを1つずつ下げて調節してください。

スイッチ	0	1	2	3	4	5
感知距離 (単位: mm)	自動調節	500	600	700	800	900



※出荷時は「スイッチ0：自動調節」に設定してあります。

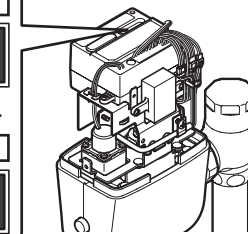
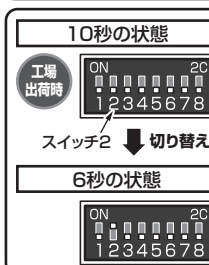
自動洗浄切替方法 ※大小切り替え洗浄・自動洗浄なしタイプを除く



スイッチ1を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。自動洗浄をオフにする場合は、スイッチ1を「切」に設定してください。

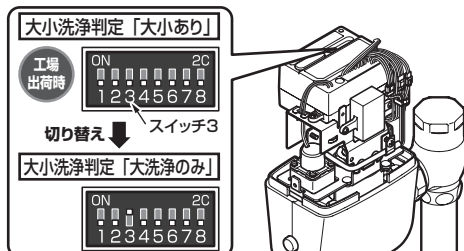
自動洗浄開始時間の切替方法 ※大小切り替え洗浄・自動洗浄なしタイプを除く



スイッチ2を切り替える。

工場出荷時は10秒に設定していますが、自動洗浄までの待ち時間が長く感じる場合は、6秒に切り替えてください。

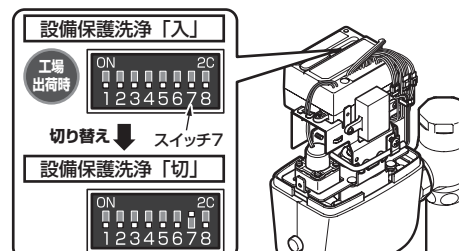
大小洗浄切替方法 ※大小切り替え洗浄・自動洗浄なしタイプを除く



スイッチ3を切り替える。

スイッチ3を切り替えることで大洗浄のみの場合と、大小洗浄の判定を行う場合とを選択できます。
工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。

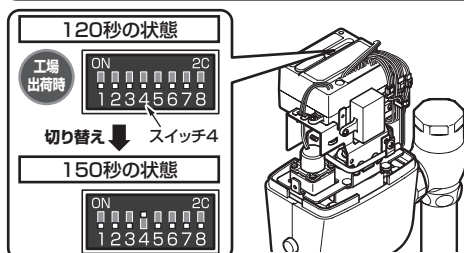
設備保護洗浄の切替方法



スイッチ7を切り替える。

24時間洗浄がない場合は配管を保護するため、自動的に洗浄します。
設備保護洗浄をオフにする場合は、スイッチ7を切り替えてください。

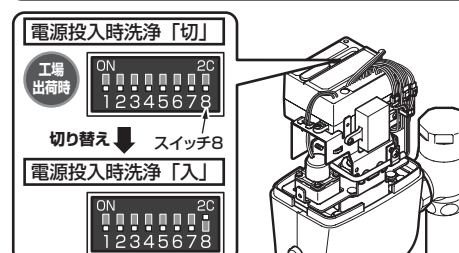
小洗浄判定時間切替方法 ※大小切り替え洗浄・自動洗浄なしタイプを除く



スイッチ4を切り替える。

人体センサーの感知時間により大/小便を判定して適正水量を流します。
工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ4を切り替えることで、150秒に設定することもできます。

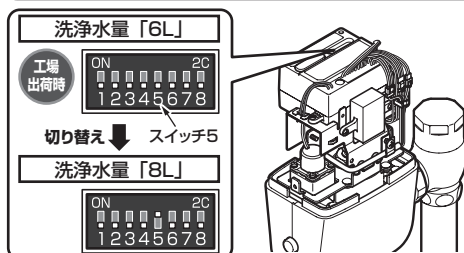
電源投入時洗浄の切替方法



スイッチ8を切り替える。

工場出荷時は「切」に設定しています。電源投入時洗浄を「入」にすると、電源投入時や停電からの電源復帰時に、1度自動洗浄することができます。電源投入時洗浄を「入」にする場合は、スイッチ8を切り替えてください。

洗浄水量の切替方法 (TEFV10YUH型の場合のみ切替可能)



スイッチ5を切り替える。

水の流れが弱く汚物が流れない場合、スイッチ5を切り替えると洗浄水量が大：8L、小：6Lに増えます。

10 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

配線の確認

コネクターおよび信号線・電源線が接続されているか確認してください。

- ① コネクターは確実に接続していますか？
- ② 信号線・電源線は確実に接続していますか？

露出タイプの場合

→ 6-3 - ⑤ 「信号線・電源線の接続」 参照

埋め込みタイプの場合

→ 7-2 - ③ 「信号線・電源線の接続」 参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ③ 自動バルブ本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

露出タイプの場合

→ 6-6 - ⑧ 「自動バルブ本体の取り付け」 参照

埋め込みタイプの場合

→ 7-2 - ⑤ 「自動バルブ本体の取り付け」 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ④ 接続部はしっかり締め付けていますか？

露出タイプ、埋め込みタイプ共通

→ 6-2 - ② 「スパッドと洗浄管の取り付け」 参照

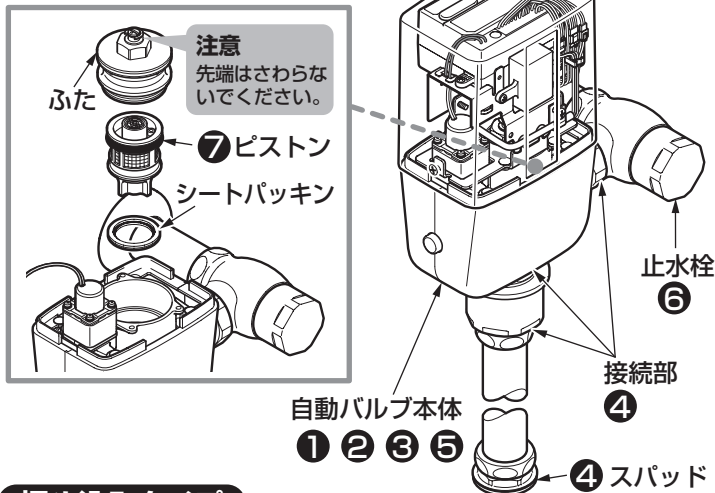
露出タイプの場合

→ 6-6 - ⑧ 「自動バルブ本体の取り付け」 参照

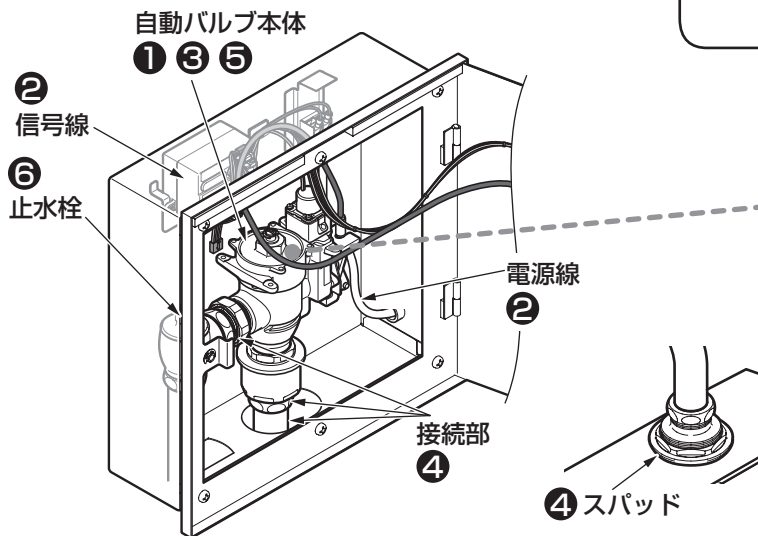
埋め込みタイプの場合

→ 7-2 - ⑤ 「自動バルブ本体の取り付け」 参照

露出タイプ



埋め込みタイプ



洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

- ⑤ 洗浄水量は正しく設定されていますか？

露出タイプ、埋め込みタイプ共通

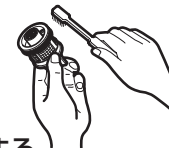
→ 6-4 - ⑥ 「洗浄水量の調節」 参照

- ⑥ 止水栓は開いていますか？

露出タイプ、埋め込みタイプ共通

→ 6-6 - ⑨ 「水勢の確認」 参照

- ⑦ ピストンのごみ詰まりはないですか？



→ ピストンの掃除をする。掃除方法は取扱説明書を参照してください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。